雪小っ子 No14【特集号】

全校朝会で作った児童の俳句作品集（学級俳句創作）

平成29年5月23日

一年

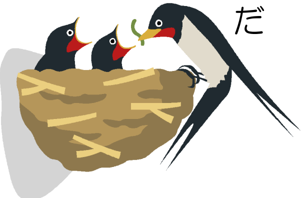
こいのぼりかぞくといっしょにおよいでる　市場　孔雀
こいのぼりきれいにおよぐたのしそう　大賀　美空
ともだちとウィークいっしょにでかけたよ　松岡　いと

二年

つばめの子母をまってるピヨピヨと　浦里　望愛
子どもの日わたしのおとうとたん生日　川口　美蘭
こいのぼりにこにこわらっておうえんだ　田平　舞羽

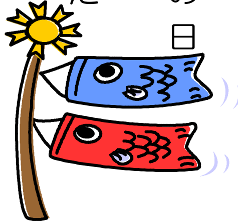
三年

つばめの子えさをえさをとすの中で　大賀　陸時
自てん車で青空すすむ若葉道　川口　空
こいのぼりずらりならんだ十八ぴき　中沼　美波
ウォークラリースタンプ十個春の空　平松　壱大



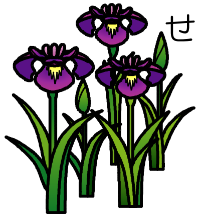
四年

しょうぶ湯で旅の思い出また一つ　小橋　凜太朗
こいのぼり親子なかよくおよいでる　坪川　風斗
青い空辺り一面つつじさく　中川　仁
おばあちゃんおかしもらったこどもの日　西尾　渉
こどもの日お母さんからプレゼント　松下　恋百
こどもの日こいが川面に大集合　湯川　海輝
こいのぼり親子いっしょにお出かけだ　吉岡　結衣
こいのぼりゆらゆら風とあそんでる　米山　彰紀信



五年

もぎたての夏みかんの香そばにおき　小川　和輝
しょうぶ湯のじゅんびせっせと光るあせ　武宮　慧
さくらんぼひやけ大変真っ赤っか　田平　聖華
新緑に笑顔あふれるケーナの音　林田　玲実
ケーナの音春風に乗り旅に出る　松本　咲月



六年

ケーナの音メジロもつられて歌いだす　伊藤　優哉
さきほこるつつじの花園目にまぶし　川上　莉歩
かれ散った山々の色新緑に　川畑　怜
さくらんぼ実った実った一つまみ　島口　泰輔
たこやきが目に焼きついた子どもの日　坪川　悠翔
日は長く初夏を感じるこどもの日　中沼　海人
こいのぼり風をつかんでどこまでも　平松　妃那
ケーナふき気分バラ色春一日　米山　加寿也
連休だいざでかけよう若葉見に　渡辺　脩太

五月、青葉の候、また四月とは違った趣があります。

ゴールデンウィークや雪浦ウィークが終わってまもない五月二週目、今回は各学級で俳句創作活動に取り組みました。テーマは「雪浦ウィーク」「ゴールデンウィーク」。楽しかった思いを五・七・五のリズムに乗せて俳句で表現しました。

一年生にとっても二度目の創作活動。前回よりはリズムを掴んで表現できました。今回もいろいろと楽しめる俳句ができています。子供たちの表現を、どうぞお楽しみください。